

「情報活用能力の育成」と『なかまなビジョン』の学習過程

名古屋市情報教育研究会
会長 佐藤 安弘 (黄金中)

平成の時代も30年が過ぎ、まもなく新たな時代を迎えようとしています。当研究会は平成の一桁の時代より、児童生徒の情報活用能力の育成に重きを置き、実践研究に取り組んできました。

その間、機器等メディアの進展は甚だしいものがありました。機器の使い方指導ではなく、情報を集め、選択し、加工し、発表し、振り返り、確かな知識を身に付けるという一貫した学びの指針をもって、指導に取り組んできました。この過程(プロセス)には、児童生徒が自分の考えをもち、友達と意見交換等、情報交流をし、課題解決に結び付けるという一連の流れがあります。

昨今、主体的・対話的で深い学びのある学習が求められるようになり、本市では、なかまと学びを深める授業づくり『なかまなビジョン』が示されました。全ての教員に配付されたリーフレットにある学習過程を見ると、情報活用能力の育成の過程と同じであることに気がきます。

今、私たち教員に求められている指導法は、名古屋市情報教育研究会では、普段の活動でも取り入れてきたわけですから、後は、深い学びにつながっているということ論を論じる手立て、つまり、仕掛けを工夫し、その成果を児童生徒の姿で語ればよいのではないのでしょうか。自信をもって、実践に当たり、本市の子どもたちの健全育成に寄与していきましょう。



名情研 総会



5月10日(木)、名古屋市教育館で名情研の総会を行いました。部会では、部員の自己紹介の後、今後の予定を確認しました。

月刊「視聴覚教育」

月刊「視聴覚教育」(日本視聴覚教育協会)に、今年度、名情研からは以下の皆さんの実践事例が掲載されます。

- 5月号: 安部 達也 (葵小)
- 7月号: 長谷川 堅亮 (西味鏡小)
- 9月号: 石川 幸大 (枇杷島小)
- 11月号: 堀井 克也 (松栄小)
- 1月号: 糸井 智之 (柴田小)
- 3月号: 太田 甚 (道徳小)

今年度の研究

平成30年度 名古屋市情報教育研究会 研究主題

「子どもたちの学びを深める情報教育」

—主体的・対話的な学びを支える情報活用能力の育成—

研修会・研究発表大会のお知らせ

毎学期開催

★事業部 研修会(年3回)

【西区浄心中学校】

6月21日(木)に、第1回研修会を行い、タブレットPCの活用法について研修しました。

11月、1月にも研修会を予定しています。ぜひご参加ください。

第1回 研修会のお知らせ

簡単に 明日から 気軽に

授業ですぐに使えるタブレットの活用方法を紹介します。一緒に考えたりする研修会を開きます。どなたでも参加可能です！授業ですぐに使えるタブレットの活用方法について、みんなでワイワイしながら、一緒に勉強しませんか？

日 時: 6月21日(木曜日) 18:30~
場 所: 西区 浄心中学校(コンピュータールーム)

★NHKメディア研究グループ研修会(年3回)

【各学期(年3回) NHK名古屋放送局】

NHKの方と一緒に研修会を行っています。

- 1学期: 今年度の新番組やNHKの最近の動向についての紹介など
- 2学期: 番組を活用した授業実践の発表を通しての話し合い
- 3学期: 番組についての検討や、名古屋局内の施設見学

夏休み・2学期

★学習工学セミナー 8/9(木)

【名古屋情報メディア専門学校】

いよいよ第50回を迎えました。鳴門教育大学 准教授 泰山 裕 先生が講演をします。

★愛知県放送教育特別研究会

(放送特研) 8/23(木)

【ウインクあいち】
茨城大学教育学部 准教授 小林 祐紀 先生が講演をします。

★名情研 全体研修会 8/24(金)

【西区浄心中学校】

プレゼンテーション資料を作成します。

★名情研 研究発表大会 10/31(水)

【名古屋市教育館】

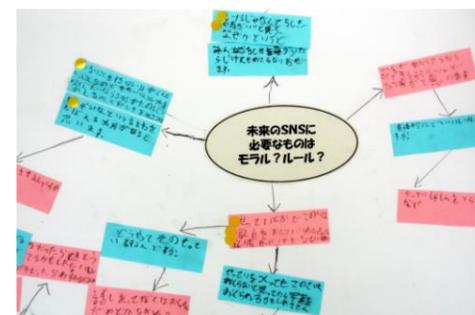
実践発表と活動報告を行います。

「名情研Web」のご案内

「研究集録Web版」ページでは、会員の実践の概要を公開しています。昨年度の実践の一部を紹介します。

★小4 総合「未来のSNSを考えよう」

SNSのトラブルをなくすため、「モラルが必要」と「ルールが必要」の立場に分かれ、意見交流を行った。付箋紙を使って話し合いを行ったことで、話し合いの流れを可視化し、何が重要な意見だったかを容易に振り返ることができた。



他にも約200本の過去の実践を公開しています。ぜひご覧ください。



「名情研の活動って？」
「ICTを生かしたい！」
「実践が見たい！」

「名情研Web」では、名情研会員以外の方にも役立つ情報を発信しています。

<http://www.meijoken.com/>

名情研

検索